

令和4年度研修機関が公表すべき情報の内訳

研修機関情報	法人情報	法人格・法人名称・住所等 ・認定NPO 法人生き生きネットワーク ・静岡市葵区安東一丁目23番12号 ● 代表者名、研修事業担当 ・代表理事 杉本 彰子
	研修機関情報	● 事業所名称・住所 ・認定NPO 法人生き生きネットワーク ・静岡市葵区安東一丁目23番12号 ● 研修名称及び形式 ・いきいき介護職員初任者研修(通信) (以下、研修という) ● 理念 ・経営理念: 「ひとりひとりが生き生きと生きるためのネットワーク作りをしています。困ったとき、伺いますモットーに、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる方々の支援をさせていただきます。 ・教育理念: 「福祉のこころと基本的な介護の知識・技術の習得」 ● 学則 ※別紙①「研修学則」参照 ● 研修施設、設備 ・認定NPO 法人生き生きネットワークいきいき研修室 ・静岡市葵区安東一丁目23番12号いきいきハウス2階 ・椅子12脚・テーブル6台、折り畳みベット2台、ポータブルトイレ2台、トイレ2ヶ所、ホワイトボード1台、感染対策備品 他
研修事業情報	研修の概要	● 対象 ・介護業務を遂行する上で、必要な基本的な知識・技術を学ぶことを目的とする方々 ● 研修受講までの流れ(募集、申し込み、費用、他) ※別紙②「研修の概要(研修受講までの流れ・費用他)」参照 ● 研修のスケジュール(期間、日程、時間数) ※別紙③「研修カリキュラム表」参照 ※別紙④「研修時間割表」参照 ● 定員と指導者数 ・定員 12名 ・講師数 17名

		<ul style="list-style-type: none"> ● 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を施しながら研修を進めます。ご協力をよろしくお願いいたします。 ・介護現場で実践経験豊富な講師陣により、介護の基礎的知識・技術、介護職のやりがいや魅力などをお伝えできるよう研修を進めます。仲間とともに学びを進め理解を深めましょう
	課程責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 課程編成責任者名 代表理事 杉本彰子
	研修カリキュラム（通信） 修了評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 科目別シラバス ※別紙⑤「個別研修計画(シラバス)」参照 ● 科目別特徴 演習の場合は、実技内容・備品、指導体制 ● 科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 ● 通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題 ● 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準
	講師情報	科目別担当講師名 ※別紙⑥「講師一覧表」参照 <ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、略歴、現職、資格 ※別紙⑦「講師情報一覧表」参照
実績情報		<ul style="list-style-type: none"> ● 過去の研修実施回数・参加人数（年度ごと） 平成22年度 1回、12名 平成23年度 1回、14名 平成24年度 2回、33名(16名、17名) 令和3年度 1回、8名
連絡先等		<ul style="list-style-type: none"> ● 申し込み・資料請求先 認定NPO 法人生き生きネットワーク 静岡県葵区安東一丁目23番12号 TEL 054-209-0700 ● 法人の苦情対応者名・役職・連絡先 代表理事 杉本 彰子 電話 054-209-0700 Fax054-209-5700 mail :npo_ikiiki@pure.ocn.ne.jp http://npo-ikiiki.net/

令和4年5月20日

認定NPO法人生き生きネットワーク介護職員初任者研修(通信)学則

(目的)

第1条 介護分野の多様化するニーズに伴い、介護職員の基礎的な養成研修として、介護業務を遂行する上で求められる基本姿勢、基本的な知識と技術を学ぶことを目的とする。

(研修の課程及び形式)

第2条 前条の目的を達成する為、次の研修事業(以下「本研修」という)を実施する。
「介護職員初任者研修課程(通信形式)」

(研修の名称)

第3条 本研修の名称は「いきいき介護職員初任者研修」とする。

(事業者の名称・所在地)

第4条 本研修は、次の事業者が実施する。
名 称 認定NPO法人生き生きネットワーク (以下「事業者」という)
所在地 静岡市葵区安東1丁目23番12号

(研修会場の所在地)

第5条 研修の講義及び演習会場
研修会場の所在地は、別紙1「いきいき介護職員初任者研修(通信)研修会場」
参照(認定NPO法人生き生きネットワークいきいき研修室 静岡市葵区安東1丁目23番12号)

(研修期間)

第6条 研修期間はおおむね2か月とする。

(講師)

第7条 研修を担当する講師は、別紙2「いきいき介護職員初任者研修(通信)講師一覧表」のとおりとする。

(遅刻、早退、欠席者の取り扱い)

第8条 研修開始前に出欠の確認をする。やむを得ず欠席する場合は、研修開始前に電話等により連絡し「欠席届」を提出する。なお、10分以上遅刻した場合は欠席とする。早退は受講できなかった研修を欠席扱いとする。

(研修の時間数)

第9条 研修時間数は、別紙4「いきいき介護職員初任者研修(通学)カリキュラム表」を最低基準とし、本研修の時間数は以下のとおりとする。

- (1) 講義及び演習91時間30分、自宅事前学習38時間30分、1時間の修了評価を加え、全課程計131時間を履修する。
- (2) 実習は行わない。

(研修修了の認定)

第10条 研修修了の認定方法は、以下により行う。

- (1) 第9条に定める研修の全日程及びその内容全てを履修した後、終了評価を受ける。100点を満点とし、70点以上の評価を得た方を修了者と認める。69点以下の方については、原則として、修了と足りるまで再評価を行う。
- (2) 前項の全ての履修とは、「こころとからだのしくみと生活支援技術」の項目において、介護技術の習得が講師により評価されることを含む。

(受講申し込み手続き)

第11条 受講申し込み手続きは、次の手順の完了を事業者が確認することで、受講申し込みが完了したとみなす。

(1) 受付期間

開講日の概ね9週間～15週間前位から受付を始め、1週間前で締め切る。ただし、やむを得ない事情により直前申し込みを希望する方がいた場合、受講開始日までに(3)の手続きが完了できる場合は受付を行うことができる。

(2) 申し込み手続き

電話等で問い合わせ後、指定の申し込み用紙のFax、インターネットにて、受講申し込み手続きを行う。

(3) 受講決定通知等

事業者からの受講証、受講料納入案内の配送を受け、事業者が受講料の納入を確認した後、教材資料を申込者に発送する。これをもって受講申し込み手続き完了とする。

(受講費用・返金について)

第12条 受講に際し必要な費用は以下のとおりとする。

(1) 受講料 60,000円(税込み)

(2) テキスト代 7,124円(税込み)

ただし、受講料について分割払いの適用、一部割引特典の適用をすることができる。

(3) 返金について

受講申込手続完了後の返金を行わないものとする。ただし、やむを得ない事情がある場合にはこの限りではない。

(保険加入)

第13条 事業者は、研修期間中に事故が発生した場合に備え、傷害保険に加入するものとし、保険加入に関わる費用は事業者が負担する。

(研修欠席者に対する補講の実施方法)

第14条 研修を欠席したのものには、補講を実施し、科目履修完了とする。補講に掛かる受講料は無料とする。

(使用テキスト等)

第 15 条 研修に使用する教材は次のとおりとする。

一般社団法人長寿社会開発センター 介護職員初任者研修課程テキスト(3巻)

(受講取消)

第 16 条 受講者が以下のいずれかに該当すると認められる場合は、事業者の判断により当該受講者の受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者
- (3) 受講継続意思がなく、「退講届」を提出した者
- (4) その他、事業者が不適当とみなした者

(退講)

第 17 条 第 16 条各号により受講を取り消されるに至った者は退講扱いとし、書面によりその理由を示して通知する。

退講前に履修した当該研修については、その受講をすべて無効とする。

(修了者管理)

第 18 条 事業者は、修了者を静岡県知事に報告するとともに、修了者台帳で永年管理する。

(修了証明書の交付)

第 19 条 事業者は、第 10 条により修了者と認定した者に対して、介護保険法施行令第 3 条第 1 項により修了証明書を交付する。

(修了証明書の再交付)

第 20 条 修了者のうち、修了証明書を破損又は紛失した者は、「いきいき介護職員初任者研修修了証明書再交付申請書」を事業者に提出することで再交付を受けることができる。前項により交付する修了証明書の様式は、介護保険法施行規則第 22 条の 25 に定めるものとする。

(公表する情報の項目)

第 21 条 研修機関が公表すべき情報については、別紙「研修機関が公表すべき情報の内訳をホームページ上で公表する(<http://npo-ikiiki.net>)

(個人情報管理)

第 22 条 事業者は、当該研修における個人情報について厳正に管理を行う。

受講者は、研修中に知り得た個人情報等を他に口外しないこととし、その旨を誓約書に記載して事業者に提出する。

(施行細則)

第 23 条 この学則に必要な細則並びに、この学則に定めのない事項で必要があると認められる場合は、事業者がこれを定める。

(附則)

この学則は、令和3年10月27日から施行する。

(附則)

この学則は、令和4年6月1日から施行する。

令和4年度いきいき介護職員初任者研修(通信)
研修の概要(研修受講までの流れ・費用他)

<特徴>

- ① 介護現場で実践経験豊富な講師陣により、介護の基礎的知識・技術、介護職のやりがいや魅力などをお伝えできるよう研修を進めます。
- ② 求職中の方、転職希望の方、介護分野に関心のある方など、介護の仕事に就くためのスタートラインとしての研修です。
- ③ 介護経験のない方、どなたでも理解度に応じて研修できるよう丁寧に修了までサポートします。
- ④ 介護の実践に役立つよう、講義・演習一体型の授業を行います。

<定員>

- ① 定員 : 12名(定員に達しなくても開講します)
- ② 指導者数 : 17名

<スケジュール>

・週2コース(水・土)、全16日

- ① 募集期間 : 令和4年8月1日(火)～令和5年1月4日(水)
- ② 受付期間 : 令和4年10月1日(土)～令和5年1月4日(水)
- ③ 研修期間 : ((開講日)令和5年1月11日(水)～(閉校日)令和5年3月8日(水))

<研修の時間数>

・スクリーニング(講義及び演習)	91時間30分
・自宅事前学習	38時間30分
計	130時間

<受講料>

- ・受講料 60,000円(税込)
- ・テキスト代 7,124円(税込)
- ※分割払い可
- ※補講料 無料

令和4年5月9日

いきいき介護職員初任者研修 カリキュラム表

科目		講義・演習(通学通信)	通信	実習	時間数(合計)
1	職務の理解	6時間		0時間	6時間
2	介護における尊厳の保持・自立支援	1時間30分	7時間30分	0時間	9時間
3	介護の基本	3時間	3時間	0時間	6時間
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	3時間	6時間	0時間	9時間
5	介護におけるコミュニケーション技術	3時間20分	2時間40分	0時間	6時間
6	老化の理解	3時間	3時間	0時間	6時間
7	認知症の理解	3時間	3時間	0時間	6時間
8	障害の理解	1時間40分	1時間20分	0時間	3時間
9	I 基本知識の学習	6時間	5時間30分	0時間	11時間30分
	II 生活支援技術の学習	46時間30分	4時間30分	0時間	51時間
	III 生活支援技術演習	10時間30分	2時間	0時間	12時間30分
	計	63時間	12時間	0時間	75時間
10	振り返り	4時間		0時間	4時間
合計		91時間30分	38時間30分	0時間	130時間

修了評価(筆記試験)	1時間
------------	-----

※ 各科目の内容については、平成24年3月28日付け老振発0328第9号厚生労働省老健局振興課長通知別添のとおり実施する。

資料 9 ところとからだのしくみカリキュラム表

令和4年5月9日

		通学	通信	計	
I 基本知識 の学習	(1) 介護の基本的な考え方	2時間30分	2時間	4時間30分	
	(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	1時間30分	2時間	3時間30分	
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	2時間	1時間30分	3時間30分	
	計	6時間	5時間30分	11時間30分	
II 生活支援 技術の学習	(4) 生活と家事	1時間30分	30分	2時間	
	(5) 快適な居住環境整備と介護	1時間30分	30分	2時間	
	(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	7時間30分	30分	8時間	
	(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと 自立に向けた介護	12時間	30分	12時間30分	
	(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	6時間	30分	6時間30分	
	(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと 自立に向けた介護	6時間	30分	6時間30分	
	(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に に向けた介護	6時間	30分	6時間30分	
	(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	3時間	30分	3時間30分	
	(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終 末期介護	3時間	30分	3時間30分	
	計	46時間30分	4時間30分	51時間	
	III 生活支援 技術演習	(13) 介護過程の基礎的理解	3時間	1時間	5時間
		(14) 総合生活支援技術演習	7時間30分	1時間	8時間30分
計		10時間30分	2時間	12時間30分	
合計		63時間	12時間	75時間	

認定NPO法人生き生きネットワーク
いきいき介護職員初任者研修（通信）時間割表

	年月日	時間	時間 (分)	区分	科目・項目	講師	会場		
1 回 目	令和5年 1月11 日(水)	9:00～10:00	(1:00)	—	(開校式 オリエンテーション)	別紙 2 講師一 覧表の 通り	いき いき 研修 室		
		10:00～12:05 (休憩5分含む)	2:00	講義 演習	科目 1.職務の理解 (1)多様なサービスの理解 介護の社会化と介護保険制度の創設 介護保険制度における多様なサービス 介護保険外サービス、社会資源との連携 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解 介護職の仕事と働く場所 介護の業務 介護保険サービス利用までの流れ (3)介護職員初任者研修の位置づけ 日本の状況 初任者研修の概要 初任者研修とキャリアパスの関係 (4)施設見学 ※3施設				
		12:50～14:20	1:30	講義 演習					
		14:30～15:30	1:00	講義 演習					
		15:30～17:00	1:30						
計 6時間		科目 1.職務の理解							
1回目 1月11日(水)		6時間							
2 回 目	1月14 日(土)	9:20～10:50	1:30	講義	科目 2.介護における尊厳の保持・自立 支援 (1)人権と尊厳を支える介護 人権と尊厳の保持 ICF、QOL、ノーマライゼーション 虐待防止・身体拘束禁止 個人の権利を守る制度の概要 (2)自立に向けた介護 自立支援 介護予防				
		計 1時間30分		科目 2.介護における尊厳の保持・自立支援					
		11:00～12:30	1:30	講義 演習	科目 3.介護の基本 (1)介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護環境の特徴の理解 介護の専門性 介護にかかわる職種 (2)介護職の職業倫理 介護サービスの公共性と職業倫理 利用者・家族に対する責任 社会に対する責任 (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護における安全の確保 事故予防安全対策 感染対策 (4)介護職の安全 健康管理とストレスマネジメント 介護職の労働の権利と労働法				
13:20～14:50	1:30	講義 演習							
計 3時間		科目 3.介護の基本							

		15:00～16:40	1:40	講義 演習	科目 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1)介護保険制度 介護保険制度創設の背景、目的および動向 介護保険制度の仕組みの基本的理解 制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 ケアマネジメント	
3 回 目	1月18 日(水)	9:20～10:00	0:40	講義 演習	(2)医療との連携とリハビリテーション 医行為と介護 医療と介護の連携 リハビリテーション職種との連携	
		10:00～10:40	0:40	講義 演習	(3)障害福祉制度およびその他制度 障害福祉制度の理念 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 個人の権利を守る制度の概要	
	計 3時間		科目 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
	10:50～12:20	1:30	講義 演習	科目 6.老化の理解 (1)老化に伴うこころとからだの変化と日常 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響		
	13:10～14:40	1:30	講義 演習	(2)高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点		
	計 3時間		科目 6.老化の理解			
	14:50～15:20	0:30	講義 演習	科目 8.障害の理解 (1)障害の基礎的理解 障害の概念とICF 障害福祉の基本理念 障害者(児)とは		
	15:20～16:00	0:40	講義 演習	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理 ・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 身体障害 知的障害 精神障害 強度行動障害 難病		
	16:00～16:30	0:30	講義 演習	(3)家族の心理、かかわり支援の理解 家族への支援		
	計 1時間40分		科目 8.障害の理解			
3回目 1月18日(水)		6時間				
4 回 目	1月21 日(土)	9:00～10:40	1:40	講義 演習	科目 5.介護におけるコミュニケーション技術 (1)介護におけるコミュニケーション 介護におけるコミュニケーションの技法 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 利用者の状況状態に応じたコミュニケーション技術の 実際	
		10:50～12:30	1:40	講義 演習	(2)介護におけるチームのコミュニケーション チームにおけるコミュニケーションとは コミュニケーションを促す環境 記録における情報の共有化 報告など	
計 3時間20分		科目 5.介護におけるコミュニケーション技術				

13:20～15:40 (休憩5分含む)	2:15	講義 演習	科目 7.認知症の理解 (1)認知症を取り巻く状況 認知症ケアの理念 (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症の概念 認知症の原因疾患とその病態 原因疾患別ケアのポイント 健康管理 認知症の治療 (3)認知症に伴うところとからだの変化と日常 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 認知症の利用者への対応
15:45～16:30	0:45	講義 演習	(4)家族への支援 介護家族の現状の理解 介護家族による本人の理解とかかわり方 介護職による介護家族の心理の理解と支援

計 3時間 科目 7.認知症の理解

4回目 1月21日(土) 6時間20分

5 回 目	1月25 日(水)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	科目 9.ところとからだのしくみと生活支援技術 <u>I 基本知識の学習(6時間)</u> (1)介護の基本的な考え方 介護の基本的な考え方 重度化防止の視点 (2)介護に関するところのしくみの基礎的理解 高齢者の心理 自己実現と生きがいづくり (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 人体の名称と働き ボディメカニクスの活用 神経系に関するからだのしくみ バイタルチェック
		11:00～12:00	1:00		
	12:50～14:20	1:30	講義 演習		
	14:30～16:35 (休憩5分含む)	2:00	講義 演習		

5回目 1月25日(水) 6時間

6 回 目	1月28 日(土)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	<u>II 生活支援技術の学習(42時間)</u> (4)生活と家事 家事と生活の理解 生活援助(家事援助)に関する基礎知識と生活支 援-掃除・洗濯・衣類等の衛生管理・買い物他、 調理 他 (5)快適な居住環境整備と介護 住環境整備 福祉用具の活用 (6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に 向けた介護 整容に関する基礎知識 整容の介護 衣服の着脱の介護	
		11:00～12:30	1:30			講義 演習
		13:20～14:50	1:30			講義 演習
		(15:00～16:30)	1:30			「介護の仕事とは」、「介護現場ってどんなところ」

6回目 1月28日(土) 4時間30分

回 7	2月1日 (水)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に 向けた介護
-----	-------------	------------	------	----------	------------------------------------

		11:00～12:30	1:30		整容に関する基礎知識 整容の介護 衣服の着脱の介護	
		13:20～14:50	1:30			
		15:00～16:30	1:30			
		7回目		2月1日(水)	6時間	
8 回 目	2月4日 (土)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと 自立に向けた介護 移動・移乗の介護の基本 体位・姿勢の基礎知識 移乗を行う際の環境整備 移動・移乗介助に関連する福祉用具	
		11:00～12:30	1:30			
		13:20～14:50	1:30			
		15:00～16:30	1:30			
		8回目		2月4日(土)	6時間	
9 回 目	2月8日 (水)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	心身の状態に合わせた移乗介護 移動を行う際の環境整備 移動介助と留意点	
		11:00～12:30	1:30			
		13:20～14:50	1:30	講義 演習		
		15:00～16:30	1:30			
		9回目		2月8日(水)	6時間	
1 0 回 目	2月15 日(水)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に 向けた介護 食事に関する基礎知識 食事の介護 口腔ケアの支援技術 口腔ケアの介護技術	
		11:00～12:30	1:30			
		13:20～14:50	1:30	講義 演習		
		15:00～16:30	1:30			
		10回目		2月15日(水)	6時間	
1 1 回 目	2月18 日(土)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしく みと自立に向けた介護 入浴介助の基本 入浴介助に関する福祉用具 入浴介助を行う際の留意点入浴介助 清潔保持(清拭・陰部洗浄・足浴・洗髪)	
		11:00～12:30	1:30			
		13:20～14:50	1:30	講義 演習		
		15:00～16:30	1:30			
		11回目		2月18日(土)	6時間	
2 1	2月22	9:20～10:50	1:30	講義	(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立	

	日(水)	11:00～12:00	1:30	演習	に向けた介護 排泄介助の基本 排泄介助に関連する福祉用具 排泄の介助		
		12:50～14:50	1:30				
		15:00～16:30	1:30				
		12回目	2月22日(水)	6時間			
13回目	2月25日(土)	9:20～10:50	1:30	講義 演習	(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関する基礎知識 睡眠の介護 睡眠の介護 その他の福祉用具		
		11:00～12:30	1:30	講義 演習			
		13:20～14:50	1:30	講義 演習	(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護		
		15:00～16:30	1:30	講義 演習	老いと衰えの理解とその対応 ターミナルケアの実際		
		13回目	2月25日(土)	6時間			
14回目	3月1日(水)	9:20～10:50	1:30	講義	Ⅲ生活支援技術演習(9時間) (13)介護過程の基礎的理解 介護課程の基礎的理解		
		11:00～12:30	1:30	演習	介護課程の展開の実際-1 ※事例検討-1		
		13:20～14:50	1:30	演習	※事例検討-2		
		15:00～16:30	1:30	演習	(14)総合生活支援技術演習 ※演習-1		
		14回目	3月1日(水)	6時間			
15回目	3月4日(土)	9:20～10:50	1:30	演習	※演習-1		
		11:00～12:30	1:30	演習	※演習-2		
		13:20～14:50	1:30				
		計 63時間		科目 9.ところとからだのしくみと生活支援技術			
		15:00～16:30	1:30	講義	科目 10 振り返り (1)学習到達度の振り返り		
		15回目	3月4日(土)	6時間			
16回目	3月8日(水)	9:20～10:50	1:30	講義	(2)感想文作成		
		11:00～12:00	1:00	講義	(3)就業への備えと研修修了後における継続的な研修 ・就業への備え DVD 視聴・個人面談		
		計 4時間		科目 10 振り返り			
		12:50～13:50	(1:00)		修了時習得度確認試験(筆記試験)		
		(14:00～15:30)	(1:30)		(閉講式) (・アンケート・講師 Q&A ・修了証の授与 講師・受講生総括)		
		16回目	3月8日(水)	4時間			
総合計			91時間 30分				

※ スクーリング 91時間 30分 (16日間)

事前自宅学習 38 時間 30 分

合計 130 時間

いきいき介護職員初任者研修(通信)
個別研修計画(シラバス)

科目1 職務の理解				
指導目標	1. 研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。 2. 介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1)多様なサービスの理解	1:30	1:30	0:00	〈講義内容〉 ・介護の社会化と介護保険制度の創設 ・介護保険制度における多様なサービス ・介護保険外のサービス、社会資源との連携 〈演習の実施方法〉 介護についての認識やイメージについて個人ワーク・ディスカッションを行う
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	3:00	3:00	0:00	〈講義内容〉 ・介護職の仕事と働く場所 ・介護の業務 ・介護サービス利用までの流れ 〈演習の実施方法〉 ・DVD視聴：職務の理解編長寿社会開発センター) ・施設見学：介護保険制度の多様なサービスの理解
(3)介護職員初任者研修の位置付け	1:30	1:30	0:00	〈講義内容〉 ・日本の状況 ・初任者研修の概要 ・初任者研修とキャリアパスの関係 〈演習の実施方法〉 ・介護職のイメージと概要についてディスカッション
科目1 時間数	6:00	6:00	0:00	
科目2 介護における尊厳の保持・自立支援				
指導目標	1. 介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し理解する。 2. 自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1)人権と尊厳を支える介護	5:00	0:45	4:15	〈講義内容・通信学習課題の概要〉 ・人権と尊厳の保持 ・ICF ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要 〈演習の実施方法〉 ・尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション等の考え方を取り入れた介護についてのワークショップ。
(2)自立に向けた介護	4:00	0:45	3:15	〈講義内容・通信学習課題の概要〉 ・自立支援 ・介護予防 〈演習の実施方法〉 自立支援・介護予防についてどのような支援方法が適切かケース・スタディを行う
科目2 時間数	9:00	1:30	7:30	
科目3 介護の基本				
指導目標	1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。			

科目3 介護の基本				
指導目標	1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。			

	2. 介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2:00	1:00	1:00	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護の目指す基本的なもの、介護職に求められる専門性、多職種との連携 についてディスカッション</p>
(2) 介護職の職業倫理	1:00	0:30	0:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの公共性と職業倫理 ・利用者・家族に対する責任 ・社会に対する責任 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護職の職業倫理をふまえた利用者や家族等への対応について個人ワーク</p>
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2:00	1:00	1:00	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>事故や感染等介護におけるリスクを考えるワーク 事故や事故の要因、未然に防ぐ方法のワーク</p>
(4) 介護職の安全	1:00	0:30	0:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理とストレスマネジメント ・介護職の労働の権利と労働法 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護職の健康障害・ストレス、それらに対する健康管理についてディスカッションを行う</p>
科目3 時間数	6:00	3:00	3:00	

科目4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携

指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険制度や障害福祉を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的を理解する。 2. サービス内容、サービス利用の流れを理解する。 3. 各専門職の役割、責務を理解する。 			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護保険制度	5:00	1:40	3:20	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景、目的および動向 ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・制度を支える、組織、団体の機能と役割、財源 ・ケアマネジメント <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置付けを理解する個人ワーク 静岡市の介護保険制度サービスについて個人ワーク</p>
(2) 医療との連携とリハビリテーション	2:00	0:40	1:20	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為と介護 ・医療と介護の連携 ・リハビリテーション職種との連携 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護福祉士が一定要件でできる医行為についてワーク</p>

(3) 障害福祉制度制度およびその他制度	2:00	0:40	1:20	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度の理念 ・障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>個人の権利を守る制度について事例検討 障害者総合支援制度の概説ワーク</p>
科目4 時間数	9:00	3:00	6:00	

科目5 介護におけるコミュニケーション技術				
指導目標	1. 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。 2. 初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護におけるコミュニケーション	3:00	1:40	1:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・ 介護におけるコミュニケーションの技法 ・ 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・ 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
				〈演習の実施方法〉 共感、受容、傾聴スキルのロールプレイング
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3:00	1:40	1:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・ 非言語コミュニケーションについてロールプレイング ・ チームにおけるコミュニケーションとはを考える ・ コミュニケーションを促す環境 ・ 報告など ・ 記録における情報の共有化
				〈演習の実施方法〉 記録の重要性に気づき、主なポイントを考える ・ 障害者（言語、視覚、聴覚等）とのコミュニケーションの留意点を列挙するワークを行う
科目5 時間数	6:00	3:20	2:40	
科目6 老化の理解				
指導目標	1. 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について生理的な側面から理解する。 2. 心身の変化や疾病について理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3:00	1:30	1:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
				〈演習の実施方法〉 加齢・老化に伴う心身的変化についてロールプレイングを行う
(2) 高齢者と健康	3:00	1:30	1:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・ 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
				〈演習の実施方法〉 高齢者に多い疾病とその日常生活上の留意点についてディスカッションを行う 高齢者に多い疾病の種類・症状についてのワーク
科目6 時間数	6:00	3:00	3:00	

科目7 認知症の理解				
指導目標	1. 介護において認知症を理解することの必要性に気づく。 2. 認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 認知症を取り巻く状況	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・ 認知症ケアの理念 パーソン・センタード・ケア
				〈演習の実施方法〉 パーソン・センタード・ケアの事例検討
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2:00	1:00	1:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・ 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾患別ケアのポイント ・ 健康管理と治療
				〈演習の実施方法〉

(3) 認知症に伴うこころ	2:00	0:45	1:15	物忘れと記憶障がいの違いケーススタディを行う 〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応
				〈演習の実施方法〉 中核症状と基本的特性、及びその要因を列挙するワークを行う 認知症の利用者との関わり方、コミュニケーションについて事例検討
(4) 家族への支援	1:00	0:45	0:15	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護家族の現状の理解 ・介護家族による本人の理解とかかわり方
				〈演習の実施方法〉 家族の気持ち、受けやすいストレスを列挙するワーク 認知症の利用者の家族との関わり方の事例検討
科目7 時間数	6:00	3:00	3:00	

科目8 障害の理解

指導目標	1. 障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的な考え方について理解する。 2. 介護における基本的な考え方について理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 障害の基礎的理解	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・障害の概念とICF ・障害者福祉の基本理念 ・障害者（児）とは
				〈演習の実施方法〉 障害児（者）への介護対応の事例検討
(2) 障害の医学的側面 生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1:00	0:40	0:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・身体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・強度行動障害 ・難病
				〈演習の実施方法〉 障害の種類、程度に応じた社会支援及び介護の
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・家族への支援
				〈演習の実施方法〉 介護者の介護負担の軽減についてディスカッション
科目8 時間数	3:00	1:40	1:20	

科目9 こころとからだのしくみと生活支援技術

I 基本知識の学習

指導目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 2. 安全な介護サービスの提供方法を理解し基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 3. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、在宅、地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護の基本的な考え方	4:30	2:30	2:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護の基本的な考え方 ・重度化防止の視点
				〈演習の実施方法〉 理論や法的根拠に基づく介護の基本的考え方にDVD視聴：介護編（長寿社会開発センター）
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3:30	1:30	2:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・高齢者の心理 ・自己実現と生きがいづくり
				〈演習の実施方法〉

				介護技術の根拠となる「こころのしくみ（学習、記憶、感情、意欲等）」に関する知識についてグループディスカッションを行う DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3:30	2:00	1:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の名称とはたらき ・ボディメカニクスの活用 ・神経系に関するからだのしくみ ・バイタルチェック <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護技術の根拠となる「からだのしくみ（人体の構造や機能）」に関する個人ワーク DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）</p>
科目 9 時間数	11:30	6:00	5:30	

II 生活支援技術の学習

指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 2. 安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 3. 尊厳を保持し、自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 			
研修概要	時間数	うち 通学	うち 通信	内容・実施方法
(4) 生活と家事	2:00	1:30	0:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事と生活の理解 ・生活援助（家事援助）に関する基礎的知識と <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>家事援助の具体的な内容について事例検討を行う DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）</p>
(5) 快適な居住環境整備と介護	2:00	1:30	0:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住環境整備 ・福祉用具の活用 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>高齢者の状態に応じた在宅生活をイメージするワーク 住宅改修・福祉用具を活用した環境整備図のワーク DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）</p>

(6) 整容に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	8:00	7:30	0:30	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識 ・整容の介護 ・衣服の着脱の介護 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護度や状態に応じた整容についてロールプレイング DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）</p>
(7) 移動・移乗に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	12:30	12:00	0:30	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗の介護の基本 ・体位・姿勢の基礎知識 ・移乗を行う際の環境整備 ・移動・移乗介助に関連する福祉用具 ・心身の状態に合わせた移乗介助 ・移動を行う際の環境整備 ・移動介助と留意点 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護度や状態に応じた移動・移乗のロールプレイング DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）</p>
(8) 食事に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	6:30	6:00	0:30	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事の介護 ・口腔ケアの支援技術 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>介護度や状態に応じた食事のロールプレイング DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）</p>

(9)入浴、清潔保持に関連したところと身体のおくみと自立に向けた介護	6:30	6:00	0:30	<講義内容> ・入浴介助の基本 ・入浴介助に関連する福祉用具 ・入浴介助を行う際の留意点 ・入浴介助 ・清潔保持（清拭、陰部洗浄、足浴、手浴、洗髪） <演習の実施方法> 介護度や状態に応じた入浴、清潔保持についてロールプレイングを行う。 DVD視聴：介護技術編（長寿社会開発センター）
(10)排泄に関連したところ身体のおくみ自立に向けた介護	6:30	6:00	0:30	<講義内容> ・排泄介助の基本 ・排泄介助に関連する福祉用具 ・排泄の介助 <演習の実施方法> 介護度や状態に応じた排泄のロールプレイング。 DVD視聴：介護技術編（長寿社会開発センター）
(11)睡眠に関連したところと身体のおくみと自立に向けた介護	3:30	3:00	0:30	<講義内容・通信学習課題の概要等> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の介護 ・その他の福祉用具 <演習の実施方法> 介護度や状態に応じた睡眠のロールプレイング。 DVD視聴：介護技術編（長寿社会開発センター）
(12)死にゆく人に関連したところと身体のおくみと終末期介護	3:30	3:00	0:30	<講義内容・通信学習課題の概要等> ・老いと衰えの理解とその対応 ・ターミナルケアの実際 <演習の実施方法> ターミナルケアの利用者、家族への対応方法の検討 DVD視聴：介護技術編（長寿社会開発センター）
Ⅱ生活支援技術の学習時間数	51:00	46:30	4:30	

Ⅲ 生活支援技術演習				
指導目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(13)介護過程の基礎的理解	4:00	3:00	1:00	<講義内容> ・介護過程の基礎的理解 ・介護過程の展開の実際 <演習の実施方法> ケース・スタディにて介護過程について検討し、どのように反映し自立につなげるかワーク。
(14)総合生活支援技術演習	8:30	7:30	1:00	<講義内容> ・演習1：事例検討1 ・演習2：事例検討2 ・演習3：事例検討3 <演習の実施方法> 利用者に対する適切な支援方法の検討をディスカッションにて行う 利用者に対する適切な支援計画の検討
Ⅲ生活支援技術演習時間数	12:30	10:30	2:00	
科目 10 振り返り				
指導目標	1. 研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再確認を行う。 2. 就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法

(1) 振り返り	3:00	3:00	0:00	〈講義内容〉 ・学習到達度の振り返り
				〈演習の実施方法〉 介護職としての基礎的知識・技術の習得について 個人ワーク
(2) 就業への備えと 研修終了後における 継続的な研修	1:00	1:00	0:00	〈講義内容〉 ・事業所の現場等における実例に学ぶ
				〈演習の実施方法〉 研修を通じて学んだこと・今後継続して学ぶ課題 について個人ワーク
科目 10 振り返り時間数	4:00	4:00	0:00	
総時間	時間数	うち 通学	うち 通信	
	130時間	91時間 30分	38時間 30分	

いきいき介護員初任者研修 講師一覧表

※修正点は加筆(アンダーライン)部分です。

担当科目	項目	講師名	実務 経験 年数	資格 (取得年月日)	専任 兼任	承諾年月 日
1 職務の理解	(1) 多様なサービスの理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	嶋山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		森藤 立志	13年 2ヶ月	介護福祉士 (平成19年04月20日)	兼任	令和3年 9月6日
		杉本 昭夫	3年 9ヶ月	介護福祉士 (平成27年04月02日)	兼任	令和3年 9月2日
2 介護における尊 厳の保持・自立 支援	(1) 人権と尊厳を支える介護 (2) 自立に向けた介護	岡田 実	3年 8ヶ月	介護福祉士 (平成26年08月20日)	兼任	令和3年 9月3日
		嶋山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		杉本 昭夫	3年 9ヶ月	介護福祉士 (平成27年04月02日)	兼任	令和3年 9月2日
		及川ゆりこ	23年5 ヶ月	介護福祉士 (平成10年05月01日)	兼任	令和3年 12月8日
3 介護の基本	(1) 介護職の役割、専門性と多職種 との連携 (2) 介護職の職業倫理	嶋山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		杉本 昭夫	3年 9ヶ月	介護福祉士 (平成27年04月02日)	兼任	令和3年 9月2日
		及川ゆりこ	23年5 ヶ月	介護福祉士 (平成10年05月01日)	兼任	令和3年 12月8日
	(3) 介護における安全の確保とリスク マネジメント (4) 介護職の安全	杉本 昭夫	3年 9ヶ月	介護福祉士 (平成27年04月02日)	兼任	令和3年 9月2日
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		小栗知津子	37年	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日
		嶋山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		及川ゆりこ	23年5 ヶ月	介護福祉士 (平成10年05月01日)	兼任	令和3年 12月8日
4 介護・福祉サー ビスの理解と医 療との連携	(1) 介護保険制度	嶋山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		岡田 実	3年 8ヶ月	介護福祉士 (平成26年08月20日)	兼任	令和3年 9月3日
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	岡田 宣子	14年 7ヶ月	作業療法士 (平成18年05月16日)	兼任	令和3年 9月6日
(3) 障害福祉制度およびその他制度	河原崎 弥希子	8年	介護福祉士 (平成25年04月04日)	兼任	令和3年 9月1日	
5 介護におけるコ ミュニケーショ ン技術	(1) 介護におけるコミュニケーション (2) 介護におけるチームのコミュニケ ーション	小野寺郷子	3年	看護師 (昭和57年5月17日)	兼任	令和3年 9月4日
		岡村暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		平野 友子	39年	看護師 (昭和63年11月30日)	兼任	令和3年 9月5日
6 老化の理解	(1) 老化に伴うところとからだの変 化と日常 (2) 高齢者と健康	平野 友子	39年	看護師 (昭和63年11月30日)	兼任	令和3年 9月5日
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日

担当科目	項目	講師名	実務 経験 年数	資格 (取得年月日)	専任 兼任	承諾年月 日
------	----	-----	----------------	---------------	----------	-----------

7 認知症の理解	(1) 認知症を取り巻く状況 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (4) 家族への支援	岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和51年3月31日)	兼任	令和3年 9月5日
		白鳥 好美	11年 4ヶ月	介護福祉士 (平成17年05月11日)	兼任	令和3年 9月3日
8 障害の理解	(1) 障害の基礎的理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解等の基礎的知識 心理・行動の特徴、かかわり支援	浅岡 梨恵	21年 8ヶ月	看護師 (平成11年03月31日)	兼任	令和3年 9月2日
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月5日
		平野 友子	39年	看護師 (昭和63年11月30日)	兼任	令和3年 8月
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	I 基本知識の学習 (1) 介護の基本的な考え方	岡田 実	3年 8ヶ月	介護福祉士 (平成26年08月20日)	兼任	令和3年 9月3日
		畠山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		杉本 彰子	21年	管理者 (平成12年1月1日)	兼任	令和3年 9月7日
	(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		市川 博子	31年	看護師 (平成元年04月26日)	兼任	令和3年 8月
	II 生活支援技術の学習 (4) 生活と家事 (5) 快適な居住環境整備と介護	中谷 杏奈	6年 6ヶ月	栄養士 (平成15年03月17日)	兼任	令和3年 9月3日
		上原 直高	9年	介護福祉士 (平成24年06月19日)	兼任	令和3年 9月3日
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		平野 友子	39年	看護師 (昭和63年11月30日)	兼任	令和3年 8月
		畠山 桃子	6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日
		小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日
	(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日
	(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	長倉 利仁	9年 5ヶ月	介護福祉士 (平成24年04月13日)	兼任	令和3年 9月1日
		森藤 立志	13年 2ヶ月	介護福祉士 (平成19年04月20日)	兼任	令和3年 9月6日
		上原 直高	9年	介護福祉士 (平成24年06月19日)	兼任	令和3年 9月3日
		市川 博子	31年	看護師 (平成01年04月26日)	兼任	令和3年 9月2日
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		平野 友子	39年	看護師 (昭和63年11月30日)	兼任	令和3年 8月

担当科目	項目	講師名	実務 経験 年数	資格 (取得年月日)	専任 兼任	承諾年月 日
	(8) 食事に関連したところとからだの仕組みと自立に向けた介護	岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日
		小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日
		杉本 彰子	21年	管理者 (平成12年1月1日)	兼任	令和3年 9月7日

9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	長倉 利仁	9年 5ヶ月	介護福祉士 (平成24年04月13日)	兼任	令和3年 9月1日	
		森藤 立志	13年 2ヶ月	介護福祉士 (平成19年04月20日)	兼任	令和3年 9月6日	
		上原 直高	9年	介護福祉士 (平成24年06月19日)	兼任	令和3年 9月3日	
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日	
		平野 友子	39年	看護師 (昭和63年11月30日)	兼任	令和3年 8月	
	(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	長倉 利仁	9年 5ヶ月	介護福祉士 (平成24年04月13日)	兼任	令和3年 9月1日	
		森藤 立志	13年 2ヶ月	介護福祉士 (平成19年04月20日)	兼任	令和3年 9月6日	
		上原 直高	9年	介護福祉士 (平成24年06月19日)	兼任	令和3年 9月3日	
		岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月6日	
		小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日	
	(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	岡村 暁美	42年	看護師 (昭和47年05月31日)	兼任	令和3年 9月10日	
		(12) 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	小栗 知津子	38年 9ヶ月	看護師 (昭和48年10月15日)	兼任	令和3年 9月5日
			浅岡 梨恵	21年	看護師 (平成11年03月31日)	兼任	令和3年 9月2日
	III 生活支援技術演習	(13) 介護過程の基礎的理解 (14) 総合生活支援技術演習	森藤 立志	13年 2ヶ月	介護福祉士 (平成19年04月20日)	兼任	令和3年 9月6日
			岡田 実	3年 8ヶ月	介護福祉士 (平成26年08月20日)	兼任	令和3年 9月3日
畠山 桃子			6年 9ヶ月	介護福祉士 (平成23年05月31日)	兼任	令和3年 9月3日	
白鳥 好美			11年 4ヶ月	介護福祉士 (平成17年05月11日)	兼任	令和3年 9月3日	
10 振り返り	(1) 振り返り (2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	杉本 彰子	21年	管理者 (平成12年1月1日)	兼任	令和3年 9月7日	
		杉本 昭夫	3年 9ヶ月	介護福祉士 (平成27年04月02日)	兼任	令和3年 9月2日	

いきいき介護職員初任者研修
講師情報一覧表(資格・略歴・経験年数等)

	講師名	資格 (取得年月日)	現職	略歴	実務 経験 年数
1	杉本彰子	管理者 (平成12年1月1日)	訪問介護事業所・通所介護事業所等 管理者	・訪問介護事業所通所介護事業所 ・自立訓練・生活訓練・移動支援事業所 ・児童デイサービス事業所	22年
2	岡村暁美	看護師 (昭和47年05月31日)	—	・静岡赤十字病院 ・静岡県立こども病院 ・静岡県立総合病院	43年
3	畠山 桃子	介護福祉士 (平成23年05月31日)	活き生きネットワーク介護事業部居 宅支援専門員	・活き生きネットワーク介護事業部 ・活き生きネットワークいきいきディサー ビス喜楽庭	7年
4	森藤 立志	介護福祉士 (平成19年04月20日)	活き生きネットワークいきいきディ サービス喜楽庭相談員	・活き生きネットワーク介護事業部 ・活き生きネットワークいきいきディサー ビス喜楽庭 ・生活介護・日中一時喜楽園成人部	14年
5	杉本 昭夫	介護福祉士 (平成27年04月02日)	活き生きネットワーク介護事業部 サービス提供責任者	・活き生きネットワーク介護事業部	4年
6	岡田 実	介護福祉士 (平成26年08月20日)	活き生きネットワーク事務局長	・放課後等ディサービス児童発達支援事 業所	3年
7	岡田 宣子	作業療法士 (平成18年05月16日)	活き生きネットワーク放課後等 デイサービス・児童発達支援重 症心身障害児対応事業所 (作業療法士)	・山の上病院 ・活き生きネットワーク放課後等ディサー ビス ・児童発達支援重症心身障害児対応	15年
8	河原崎 弥希子	介護福祉士 (平成25年04月04日)	居宅訪問介護・同行援護・重度訪 問介護・移動支援事業サービス担当 責任者	・居宅訪問介護 ・同行援護 ・重度訪問介護 ・移動支援事業	9年
9	小野寺郷子	看護師 (昭和57年5月17日)	—	・浜松ろうさい病院	4年
10	平野 友子	看護師 (昭和63年11月30日)	—	・静岡県立こども病院	40年
11	小栗知津子	看護師 (昭和48年10月15日)	・下田看護専門学校非常勤講師 ・静岡医療秘書学院非常勤講師	・日本大学医学部附属板橋病院 ・金沢医科大学附属病院 ・静岡赤十字病院 ・静岡県立こども病院	38年
12	白鳥 好美	介護福祉士 (平成17年05月11日)	活き生きネットワーク介護事業部居 宅支援専門員	・活き生きネットワーク訪問介護事業所	12年
13	浅岡 梨恵	看護師 (平成11年03月31日)	活き生きネットワーク訪問看護事業 所看護師	・国立療養所静岡東病院 ・山の上病院 ・つばさ静岡	22年
14	市川博子	看護師 (平成元年04月26日)	認定NPO法人活き生きネットワーク 重度心身障がい児対応(看護師)	国立療養所静岡東病棟 ・認定NPO法人活き生きネットワーク通所介 護事業所・認定NPO法人活き生きネットワ ーク重度心身障がい児対応	32年
15	中谷 杏奈	栄養士 (平成15年03月17日)	活き生きネットワーク通所介護事業 所(栄養士)	学校法人 鈴木学園・活き生きネットワ ーク通所介護事業所	7年
16	上原 直高	介護福祉士 (平成24年06月19日)	活き生きネットワーク訪問介護事業 所サービス提供責任者	・活き生きネットワーク生活介護・日中一 時喜楽園成人部 ・活き生きネットワークいきいきディサー ビス喜楽庭 ・活き生きネットワーク訪問介護事業所	10年
17	長倉利仁	介護福祉士 (平成24年06月19日)	NPO法人WAC清水さわやかサービ ス通所介護事業所	・(有)さわやかライフ訪問介護事業所 ・活き生きネットワーク訪問介護事業所 ・WAC清水さわやかライフサービス通所介 護事業所	10年